

# 地方企業への就職のススメ

～ Uターンの魅力はこれだ！地方にこそ働きがいはある～

今年で2回目となる「地方企業への就職のススメ」。以下のことを考えている学生は是非ご参加ください！

「地方から日本を活性化して行きたい」「生まれ故郷に貢献したい」といった前向きな学生  
「地方で働くより首都圏で働いた方が成長できる」「地方には仕事がない」と思い込んでいる学生  
生まれ故郷に帰るか、首都圏に残るか迷っている学生  
地方銀行、地方新聞業界を研究したい学生

## 1. 日時・場所

09年11月26日(木) 13:00～14:20 14:45～16:05(各社2回開催。2回とも同一内容)  
国際会議場3階第二、第三会議室(中央図書館と同建物)

## 2. 講師紹介

地元でUターンした本学OBからお話ししていただきます。「なぜUターンしたの?」「地方での就職活動を成功させるコツは?」「実際にUターンしてみたのメリット・デメリットは?」「プライベートの過ごし方は?」など、なんでも聞いてみましょう。

### 株式会社第四銀行(国際会議場3階第二会議室)

【講演者氏名】 小林 学(05年商学部卒)

【所属部署】 大形支店

【仕事内容】 「法人営業」。お客様の経営課題やニーズを喚起し、多種多様な金融サービスを提供することにより、企業活動をサポートしています。

【メッセージ】 就職は人生における重要なライフイベントの一つ。周囲に流されることなく、自分なりの信念を持って活動してください。皆さんに地方で働くことの意味、やりがいをお伝えできればと思います。

### 信濃毎日新聞社(国際会議場3階第三会議室)

【講演者氏名】 村松 浩司(99年商学部卒)

【所属部署】 広告局広告部

【仕事内容】 新聞広告の営業のほか、長野県内企業への就職・採用活動をサポートする「長野県の企業ガイダンス」を担当。

【講演者氏名】 中村 正起(02年教育・社会科学卒)

【所属部署】 編集局報道部

【仕事内容】 戦争や平和に関する連載企画を担当する一方、大きな事件や社会問題が生じた場合は幅広く取材に当たっている。

【メッセージ】 信濃毎日新聞は1873年創刊。発行部数は約49万部、長野県でのシェア67%を占める県民の主読紙です。社員には県外出身者も多数おり、長野県という地域から、国内、世界に視野を広げた多様な紙面づくりに努めています。

## 3. 主な内容

OB自己紹介

OBの就職活動体験談

地方での仕事や生活の魅力について

質疑応答

**新潟県、長野県出身でなくても、地方銀行業界、地方新聞業界を研究したい学生は必見です！**

10年2月5日(金)は学内企業説明会「地方企業特集」も予定しています。